



京都部会(第7回)

日 時: 2010年6月4日(金)19:00~21:00

場 所: 同志社大学 光塩館

【内容要旨】

(1) 第7回目の京都部会は10名の参加者で開催された。まず初めに、経済教育ネットワークの篠原総一代表者から、5月27日(木)に篠原総一代表者と加藤一誠評議員の二人が出席された教科書編集者への要望についての報告があった。また、東京証券取引所との共催で開催予定の「先生のための夏休み経済教室」についての詳細な予告説明、および、その他の各種会議・研究大会や今後予定されているワークショップについての説明があった。

(2) 引き続き、中藤強氏(京都府立嵯峨野高校)が、教科書に載っていない入試事項の指導についての報告と、それについての意見交換が行なわれた。

①「高校の教科書にないのに入試に出たもので、解説が必要と思われるもの」

具体的には、「国際通貨としての金の役割」が取り上げられ、金本位制については「政治・経済」の教科書に記されている以上のことを指導する必要もなく、むしろ「日本史」の問題として扱うほうが適当である。

②「教科書にもあるが、生徒に理解しにくいもの」

外貨準備高は資料に記載されている程度であるが、国際収支の概念をしっかりと教えれば、理解させることができる。また、「総需要」と「有効需要」の違いについて明確に理解していないと、生徒を混乱させるだけである。

(3) 最後に、山本雅康氏(奈良学園中学校・高等学校)によって作成された経済問題のサンプルが示された。参加者からは、非常によく練られた問題になっているという感想が寄せられた。

(文責:西村理)

次回開催予定: 2010年9月24日(金) 19:00~21:00